

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：「山の民」実践フィールドワーク入門 ILAS Seminar :Fieldwork on Forest Peoples and Livelihoods			担当者所属 職名・氏名	農学研究科 助教 内藤 大輔		
群	少人数群	単位数	2単位	時間数	30時間	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)
開講年度・開講期	2026・前期集中	受講定員 (1回生定員)	7(7)人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	集中未定	教室	農学部総合館、西日本の中山間地域(北部構内)			使用言語	日本語及び英語
キーワード	山の民/山の暮らし、生業/フィールドワーク/農林業/中山間地						
【授業の概要・目的】							
近年、日本の基層文化を形成してきた「山の民」の暮らしは、過疎、高齢化などにより急速に変わりつつある。本セミナーでは、近畿（京都、奈良など）の山村でのフィールドワークから、山村に長く暮らして来られた方々との交流を通じて、山の暮らし、文化、行事、生業について学び、実践することによって、現在中山間地に暮らしている人々の生きていく技を体感し、抱えている課題について学ぶことを目的としている。							
【到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> ・「山の民」の暮らしについて学ぶ。 ・中山間地の抱えている問題について理解する。 ・フィールドワークに必要な基礎知識を習得する。 							
【授業計画と内容】							
<p>集中講義：前期期間中に、以下のフィールドにおいて、フィールドワークを実施する。 まず初回の授業で、受講者の興味・関心に沿って、実習内容・スケジュールを確定する。 フィールドサイト：京北（岩倉、花背、周山、美山）、奈良（吉野）</p> <p>4月初旬 イン트로ダクション 4月 京北 春の里山を味わう、棚田・畑の整備 5月 京北 茶つみ、田植え準備 6月6-7日 奈良・吉野 山の神（川上村）、山の神神事、夏祭りへの参加、吉野の山づくり 夏季休暇中：京北、美山での山づくり</p> <p>4,5月は日帰りフィールドワークを2回土日に実施する。 6月は宿泊のフィールドワークを実施する。 フィールドへは8人乗りの車で移動する。</p>							
【履修要件】							
特になし							
ILASセミナー：「山の民」実践フィールドワーク入門(2)へ続く							

ILASセミナー：「山の民」実践フィールドワーク入門(2)

[成績評価の方法・観点]

フィールドワークへの参加、フィールドノートの記録（70%）
レポート（30%）

[教科書]

授業中に指示する

[参考書等]

（参考書）
宮本常一『山に生きる人びと』（未来社, 1964）

[授業外学修（予習・復習）等]

訪問するフィールドについての予備学習
フィールドワーク後にフィールドノートの執筆

[その他（オフィスアワー等）]

学生教育研究災害傷害保険等の傷害保険への加入のこと
フィールド実習では、食費、宿泊費がかかります（事前にLMSにて通知します）

[主要授業科目（学部・学科名）]